

委託事業実施内容報告書

平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名： 浜松学院大学

1 事業の趣旨・目的

日本人住民と外国人住民が共生するコミュニティを構築するための出会いと育みの場を提供する。日本語でのおしゃべりを通し、外国人住民、日本人住民が共に日本語コミュニケーション能力向上を目指す。

2 運営委員会の開催について

【概要】

第1回		
開催日時	出席者	会議の概要
5月14日(金) 16:20～17:50	三輪千明 山田国明	●事業担当あいさつ ●委員紹介
開催場所	川添裕子	●事業企画提案までの経緯：日本語教員養成プログラムの付随事業として立ち上げた教室の自立運営サポートと情報交換の拠点となることを期待し事業申請。
議題 事業内容の確認	浜松学院大学	●事業計画説明：採択決定後の事業計画書作成や活動開始準備の経過、予算と教室数の変更などの説明。各教室の授業実施予定、運営委員会の日程確認。
	近藤知子	●にはんごカフェの現状報告
	米勢治子	●質疑応答：初心者への対応はカフェに限らず難しい問題。言葉以外の伝達手段も活用すべき。一般ボランティアへの対応はコンセプトの理解が大事。参加者募集、広報活動について委員から提案。参加者の継続を促すための工夫について。
	小林芽里 久澄絵美 杉浦徹衛 村木恵子 松岡真理恵	
第2回		
開催日時	出席者	会議の概要
9月3日(金) 16:50～17:50	三輪千明 山田国明	●各教室の経過報告 【東新町教室】：金曜と土曜を交互に開催していたが、土曜に統一することに。参加者数の低迷は同地域の他教室の影響も考えられる。【遠州浜教室】：子連れの参加者に対応。ペアからグループ活動に変更、テー
開催場所	川添裕子	
浜松学院大学	横内美保子	

議題	米勢治子	マ提示をすることなど、事業化してから変化があった。【佐鳴台／土曜】：やさしい日本語、初級者対応、新規日本人参加者対応の3点を重視している。日本人参加者の層が変化することで教室の雰囲気も変化している。【湖西】：5～7月は事業推進員が中心となってコーディネータを担当。盛況で対応に苦慮する程だった。第1ターム終了後にスタッフでミーティングを開き、第2タームから活動方法とテーマ設定の方針を変更することになった。
事業経過の報告	小林芽里	
	杉浦徹衛	
	村木恵子	
		●広報：多言語でタームごとに作成。浜松国際交流協会のHICE NEWSや掲示板などを活用。
		●メーリングリスト：各回を担当したコーディネータが活動報告書を投稿し、関係者で情報を共有している。
		●質疑応答：書く作業の導入、上達を実感するための工夫、やさしい日本語について意見交換。
第3回		
開催日時	出席者	会議の概要
2月25日（金）	三輪千明	●参加者数の推移、教室の様子
16:50～17:50	山田国明	【湖西】：参加者は低迷。しかし、地域の日本人参加者が協力的に参加。
開催場所	川添裕子	参加者の子どものための学習支援と託児の場を併設している。【佐鳴台】：土曜日は、日本人参加者の数が安定せず。事業終了後に外国人参加者数が増え安定してきた。活動内容の改善の成果か。日曜は、参加メンバーに変化はなし。外国人も常連の人が多い。【東新町】：12月まで参加者が伸びず苦戦。第3ターム後半からペルー人夫婦が常連になってくれるようになった。参加者は少ないが活動に対する満足度は高い。【遠州浜】：常連の人たちと、ときどき参加する層の人たちがいて平均的に安定して人数が多い。【全体を通して】：各教室の平均参加者数は残念ながら少なかったが、異なり数としての参加者数は4地域の教室で外国人と一般の日本人を含めて300人近い。これだけの人たち
浜松学院大学	近藤知子	に对话型活動を体験してもらえたことは、この事業でアピールできる成果。
議題	横内美保子	●事業終了後の様子：全ての教室が独自運営で継続中。しかし、4月以降の継続が未定の教室もある。
事業成果の報告、	米勢治子	●広報：市内各地の団地へポスティングを実施。湖西教室が新聞に4回掲載された。カフェを紹介する展示パネルを作成し、学内や浜松市
総括	小林芽里	多文化共生センターや雄踏町のボランティア講座などで展示した。カフェのブログは浜松以外の地域からのアクセスの方が多い。
	久澄絵美	●事業総括。浜松学院大学の日本語教員養成プログラムから続いてきたにほんごカフェは一定の成果をあげ、地域貢献できたと考えられる。
	杉浦徹衛	
	松岡真理恵	

【写真】



3 日本語教室の開催について

①日本語教室の名称

多文化共生のための日本語コミュニケーション講座

- ・にほんごカフェ東新町教室（通称：東新町にほんごカフェ）
- ・にほんごカフェ遠州浜教室（通称：遠州浜にほんごカフェ）
- ・にほんごカフェ佐鳴台教室（通称：佐鳴台にほんごカフェ）
- ・にほんごカフェ湖西教室（通称：湖西にほんごカフェ）

②開催場所

【にほんごカフェ東新町教室】

- ・磐田市多文化交流センター（磐田市東新町 1-1-8）※第 1、3、5、7、9、11、13 回
- ・磐田市立南御厨公民館（磐田市東新屋 613）※第 2、4、6、8、10、12、14～30 回

【にほんごカフェ遠州浜教室】

- ・浜松市立五島公民館（浜松市南区福島町 242-1）

【にほんごカフェ佐鳴台教室】

- ・浜松市立佐鳴台公民館（浜松市中区佐鳴台 2-24-1）

【にほんごカフェ湖西教室】

- ・表鷺津コミュニティ防災センター（湖西市鷺津 2837）※第 1～13、18～30 回
- ・勤労青少年ホーム（湖西市古見 1070）※第 14～17 回

③学習目標：

- ・地域に暮らす日本人住民とおしゃべりを通して、日本語コミュニケーション能力を身につける。
- ・テーマに沿った対話活動のなかで、自分のことについて話し、他の参加者のことを知る。

④使用した教材・リソース

自己表現型話題シラバスを採用したオリジナル教材を作成、使用。

⑤受講者の募集方法

【外国人が訪れる施設・店などへのチラシの掲示・配置】

- ・磐田市：磐田市役所外国人窓口、磐田市国際交流協会、ハローワーク磐田、市内のスーパー・飲食店、ショッピングセンター、市内外の公民館
- ・浜松市：浜松市多文化共生センター、浜松市外国人学習支援センター、静岡県西部県民生活センター、静岡県西部地域交流プラザ・パレット、市内の外国人向けスーパー・飲食店
- ・湖西市：湖西市役所、湖西国際交流協会、市内の外国人向けスーパー・飲食店

【外国人集住地区にある団地などにてチラシのポスティング】

- ・磐田市：東新町団地、JR 磐田駅付近南側
- ・浜松市：佐鳴湖団地、南平団地、高丘団地、遠州浜団地、中田島団地
- ・湖西市：湖西団地

【参加した学習者にハガキチラシを送付】

【ホームページにてチラシをダウンロード可能に】

URL=<http://nihongocafe.sitemix.jp/fliers>

【浜松国際交流協会発行「HICE NEWS」に掲載】

- ・HICE NEWS 9月号ポルトガル語版、英語版

【磐田市役所発行 磐田市広報ポルトガル語版に掲載】

- ・磐田市広報 12月号ポルトガル語版

【他のボランティア団体にてチラシ配布】

- ・フィリピンナガイサ
- ・日本語ボランティア協会

⑥受講者の総数

【にほんごカフェ東新町教室】 総数：23人

ブラジル：10人、ペルー：5人、中国：6人、アメリカ：1人、インドネシア：1人

【にほんごカフェ遠州浜教室】 総数：32人

ブラジル：19人、ペルー：5人、中国：5人、フィリピン：2人、インドネシア：1人

【にほんごカフェ佐鳴台教室】 総数：38人

ブラジル：11人、ペルー：11人、中国：7人、フィリピン：2人、インドネシア：2人、アメリカ：1人、タイ：1人、キューバ：1人、インド：1人、ボリビア：1人

【にほんごカフェ湖西教室】 総数：46人

ブラジル：17人、ペルー：15人、中国：7人、韓国：3人、アメリカ：2人、タイ：1人、パラグアイ：1人

⑦開催時間数(回数)

各教室共通：60 時間（2 時間×30 回）

⑧日本語教室の具体的内容

【にほんごカフェ東新町教室】

回	開催日時 各回とも 10:00～12:00	時間数	参加 人数	国籍 (人)	教授者、補助者、 その他人数 (会話参加者)	内容・テーマ
1	5月14日(金)	2時間	1	ペ1	教1、補3、他1	GWにしたこと
2	5月22日(土)	2時間	2	ペ1、中1	教1、補3、他1	テレビ
3	5月28日(金)	2時間	4	ペ2、中1、プ1	教1、補3	色
4	6月5日(土)	2時間	7	ペ1、中3、プ3	教1、補3、他3	家事の分担
5	6月11日(金)	2時間	2	ペ1、中1	教1、補2	花
6	6月19日(土)	2時間	4	ペ1、中2、プ1	教1、補2、他5	困ったこと
7	6月25日(金)	2時間	3	ペ1、中1、プ1	教1、補3、他1	外食
8	7月3日(土)	2時間	2	ペ1、プ1	教1、補3	夏
9	7月9日(金)	2時間	1	ペ1	教1、補2	痛かった話
10	7月17日(土)	2時間	2	ペ1、プ1	教1、補2	チラシ作り
11	8月6日(金)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他3	宝くじ
12	8月21日(土)	2時間	0	-	教1、他5	夏休み
13	8月27日(金)	2時間	2	ペ1、イネ1	教1、補1、他1	スポーツ
14	9月4日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他3	防災
15	9月11日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他4	心理ゲーム
16	9月25日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他5	思い出の歌
17	10月9日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他4	イベント企画
18	10月16日(土)	2時間	1	ペ1	教1、他5	なかよし会
19	10月23日(土)	2時間	0	-	教1、補2、他3	私のいままで
20	11月6日(土)	2時間	3	ペ1、中2	教1、補2	磐田市の旧跡
21	11月13日(土)	2時間	0	-	教1、補1、他5	持ち物
22	11月20日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他5	持ち物
23	11月27日(土)	2時間	0	-	教1、補1、他4	旬の食べ物
24	12月4日(土)	2時間	0	-	教1、補1、他2	うちのお風呂
25	12月11日(土)	2時間	4	ペ3、プ1	教1、補2、他4	欲しいもの
26	12月18日(土)	2時間	3	ペ2、米1	教1、補2、他3	料理レシピ決定
27	1月8日(土)	2時間	2	ペ2	教1、補2、他3	料理レシピ作成
28	1月15日(土)	2時間	3	ペ2、プ1	教1、補2、他3	電気製品
29	1月22日(土)	2時間	3	ペ2、プ1	教1、補2、他3	私のおすすめ

30	1月29日(土)	2時間	7	ペ2、ブ5	教1、補3、他2	料理作り
----	----------	-----	---	-------	----------	------

※国籍：ブ=ブラジル、ペ=ペルー、中=中国、イネ=インドネシア、米=アメリカ

【にほんごカフェ遠州浜教室】

回	開催日時 各回とも10:00~12:00	時間数	参加 人数	国籍(人)	教授者、補助者、 その他人数 (会話参加者)	内容・テーマ
1	5月8日(土)	2時間	2	フィ1、ペ1	教1、補2、他4	GWにしたこと
2	5月15日(土)	2時間	4	ブ3、フィ1	教1、補3、他4	料理
3	5月22日(土)	2時間	5	ブ1、ペ2、中1、 フィ1	教1、補3、他2	音楽
4	5月29日(土)	2時間	5	ブ1、ペ2、中1、 フィ1	教1、補2、他6	週末にしたこと
5	6月5日(土)	2時間	4	ブ2、中1、フィ1	教1、補3、他4	スポーツ
6	6月12日(土)	2時間	1	フィ1	教1、補3、他3	ブラジルのお菓子
7	6月19日(土)	2時間	3	ブ1、中1、フィ1	教1、補3、他5	お菓子
8	6月26日(土)	2時間	5	ブ3、フィ2	教1、補3、他5	梅雨
9	7月3日(土)	2時間	9	ブ6、ペ2、フィ1	教1、補3、他6	テレビ
10	7月10日(土)	2時間	5	ブ1、ペ2、中1、 フィ1	教1、補3、他4	日本のお菓子
11	7月17日(土)	2時間	3	ブ2、フィ1	教1、補3、他4	夏、祭、花火
12	7月24日(土)	2時間	2	ブ1、フィ1	教1、補2、他4	家族
13	7月31日(土)	2時間	1	フィ1	教1、補3、他5	結婚
14	8月7日(土)	2時間	1	ブ1	教1、補3、他6	暑さ対策
15	8月21日(土)	2時間	4	ブ3、中1	教1、補3、他5	夏休み
16	8月28日(土)	2時間	6	ブ4、ペ1、フィ1	教1、補3、他3	防災
17	9月4日(土)	2時間	5	ブ3、中1、フィ1	教1、補3、他9	携帯電話
18	9月11日(土)	2時間	6	ブ3、ペ1、中1、 フィ1	教1、補3、他4	家電、エコ
19	9月25日(土)	2時間	7	ブ5、ペ1、イネ1	教1、補3、他3	買い物
20	10月2日(土)	2時間	9	ブ4、ペ1、中2、 フィ1、イネ1	教1、補3、他4	国勢調査
21	10月16日(土)	2時間	5	ブ4、中1	教1、補2、他2	連休
22	10月23日(土)	2時間	7	ブ3、中3、フィ1	教1、補3、他4	色
23	10月30日(土)	2時間	5	ブ3、フィ1、イネ 1	教1、補2、他2	プレゼント
24	11月6日(土)	2時間	9	ブ5、ペ1、中3	教1、補1、他4	日本と言えば
25	11月13日(土)	2時間	6	ブ4、ペ1、フィ1	教1、補3、他2	服

26	11月20日(土)	2時間	6	ブ3、ペ3	教1、補3、他2	いつもすること
27	11月27日(土)	2時間	11	ブ4、ペ4、中1、 フィ1、イネ1	教1、補2、他3	お好み焼き作り
28	12月4日(土)	2時間	4	ブ2、ペ1、フィ1	教1、補3、他2	お好み焼き振返り
29	12月18日(土)	2時間	4	ブ2、ペ1、フィ1	教1、補3、他3	年末・年始行事
30	1月8日(土)	2時間	5	ブ2、ペ1、中2	教1、補3、他4	冬休みにしたこと

※国籍：ブ=ブラジル、ペ=ペルー、中=中国、フィ=フィリピン、イネ=インドネシア

【にほんごカフェ佐鳴台教室】

回	開催日時 土曜 19:00~21:00 日曜 10:00~12:00	時間数	参加 人数	国籍(人)	教授者、補助者、 その他人数 (会話参加者)	内容・テーマ
1	5月9日(日)	2時間	3	ペ1、中1、イネ1	教1、補2、他8	GWにしたこと
2	5月15日(土)	2時間	3	ブ1、中2	教1、補1、他5	買い物
3	5月23日(日)	2時間	1	ペ1	教1、補3、他2	今後のテーマ選び
4	5月29日(土)	2時間	1	中1	教1、補1、他4	日本のここが変
5	6月6日(日)	2時間	6	ブ1、ペ2、中1、 キュ1、フィ1	教1、補3、他5	かわいい
6	6月12日(土)	2時間	3	ブ1、ペ1、中1	教1、他4	スポーツ
7	6月20日(日)	2時間	5	ペ2、中2、フィ1	教1、補3、他4	音楽
8	6月26日(土)	2時間	1	ペ1	教1、補1、他4	片付け
9	7月4日(日)	2時間	6	ブ4、ペ2	教1、補3、他4	夏休み
10	7月10日(土)	2時間	4	ブ1、ペ2、フィ1	教1、補1	プレゼント
11	7月11日(日)	2時間	2	ペ2	教1、補3、他3	選挙
12	7月24日(土)	2時間	2	ブ1、中1	教1、補2、他1	夏
13	8月1日(日)	2時間	2	ブ1、ペ1	教1、補3、他5	名前
14	8月21日(土)	2時間	1	ブ1	教1、補1、他7	テレビ
15	8月22日(日)	2時間	3	ブ1、ペ1、中1	教1、補3、他3	政治
16	8月28日(土)	2時間	3	ブ1、ペ1、中1	教1、補1、他4	地震
17	9月5日(日)	2時間	2	ペ1、中1	教1、補3、他7	オノマトペ
18	9月11日(土)	2時間	5	ブ1、ペ2、中2	教1、他7	わたしの部屋
19	9月25日(土)	2時間	3	ペ2、中1	教1、補1、他1	名前
20	9月26日(日)	2時間	5	ブ3、ペ1、中1	教1、補3、他2	病気・ケガ
21	10月3日(日)	2時間	2	ブ1、中1	教1、補3、他4	国勢調査
22	10月16日(土)	2時間	5	ペ3、キュ1、タ1	教1、他5	服・ファッション
23	10月17日(日)	2時間	4	ブ2、ペ2	教1、補3、他3	日本・外国のここ が変

24	11月6日(土)	2時間	14	ブ1、ペ8、中2、 米1、キュ1、ボ1	教1、補1	自己紹介/私は…
25	11月7日(日)	2時間	6	ブ2、ペ2、中1、 印1	教1、補3、他4	ペット
26	11月20日(土)	2時間	1	米1	教1、補1、他1	寒い日は
27	11月21日(日)	2時間	3	ブ1、ペ1、中1	教1、補3、他5	環境問題
28	12月4日(土)	2時間	5	ブ2、ペ1、中1、 キュ1	教1、補1、他2	いいこと・よくな いこと
29	12月5日(日)	2時間	2	ブ1、ペ1	教1、補3、他2	年末
30	12月18日(土)	2時間	3	ブ1、ペ1、イネ1	教1、補1、他1	今年一年の私のニ ュース

※国籍：ペ=ペルー、中=中国、ブ=ブラジル、イネ=インドネシア、印=インド、
米=アメリカ、キュ=キューバ

【にほんごカフェ湖西教室】

回	開催日時 各回とも10:00~12:00 ※第30回のみ12:00~	時間数	参加 人数	国籍(人)	教授者、補助者、 その他人数 (会話参加者)	内容・テーマ
1	5月10日(月)	2時間	8	ブ2、ペ4、中2	教1、補3、他14	今日のこと
2	5月17日(月)	2時間	14	ブ3、ペ6、中4、 米1	教1、補3、他9	私の名前
3	5月24日(月)	2時間	13	ブ2、ペ9、中1、 米1	教1、補3、他10	いままでの私
4	6月7日(月)	2時間	15	ブ5、ペ7、韓2、 米1	教1、補3、他19	食べ物
5	6月14日(月)	2時間	13	ブ5、ペ5、韓2、 米1	教1、補3、他11	買い物
6	6月21日(月)	2時間	15	ブ6、ペ6、韓2、 タ1	教1、補3、他13	節約
7	7月5日(月)	2時間	12	ブ3、ペ3、中2、 韓2、タ1、米1	教1、補3、他19	いろいろな色
8	7月12日(月)	2時間	11	ペ5、中3、韓2、 タ1	教1、補3、他12	おにぎり作り /計画
9	7月26日(月)	2時間	8	ブ1、ペ3、中1、 韓2、タ1	教1、補2、他9	おにぎり作り /買物
10	8月2日(月)	2時間	12	ブ1、ペ5、中2、 韓3、タ1	教1、補3、他9	おにぎり作り /調理

11	8月9日(月)	2時間	9	ブ2、ペ4、中3	教1、補3、他4	うれしかったこと
12	8月23日(月)	2時間	9	ブ3、ペ4、中2	教1、補3、他5	地震
13	8月30日(月)	2時間	4	ペ1、中1、韓2	教1、補3、他5	反省と今後の課題
14	9月6日(月)	2時間	8	ブ1、ペ2、中3、 韓2	教1、補3、他6	私たちの町、湖西
15	9月13日(月)	2時間	7	ブ1、ペ3、中3	教1、補3、他5	月を見て思うこと
16	9月27日(月)	2時間	0	-	教1、補1、他7	問題点
17	10月4日(月)	2時間	7	ブ3、ペ1、中1、 韓2	教1、補3、他4	旅行
18	10月18日(月)	2時間	3	ブ1、ペ1、中1	教1、補3、他6	遊び
19	10月25日(月)	2時間	4	ペ2、韓2	教1、補3、他3	音楽
20	11月1日(月)	2時間	9	ブ5、ペ2、韓2	教1、補3、他4	お菓子
21	11月8日(月)	2時間	2	ブ1、ペ1	教1、補3、他4	教育制度
22	11月15日(月)	2時間	2	ブ1、ペ1	教1、補3、他6	私の部屋
23	11月22日(月)	2時間	2	韓2	教1、補2、他6	外食
24	11月29日(月)	2時間	5	ブ2、パラ1、韓2	教1、補3、他6	プレゼント
25	12月6日(月)	2時間	6	ブ2、ペ2、韓2	教1、補3、他7	故郷の歌
26	12月13日(月)	2時間	0	-	教1、補3、他6	折り紙
27	12月20日(月)	2時間	5	ブ2、中1、韓2	教1、補3、他9	正月
28	1月17日(月)	2時間	2	ブ1、韓1	教1、補3、他4	お祝い
29	1月24日(月)	2時間	2	韓2	教1、補3、他6	話したいトピック
30	1月30日(日)	2時間	13	ブ5、ペ2、中4、 韓2	教1、補3、他13	ペルー風の誕生日

※国籍：ブ=ブラジル、ペ=ペルー、中=中国、韓=韓国、タ=タイ、パラ=パラグアイ、米=アメリカ

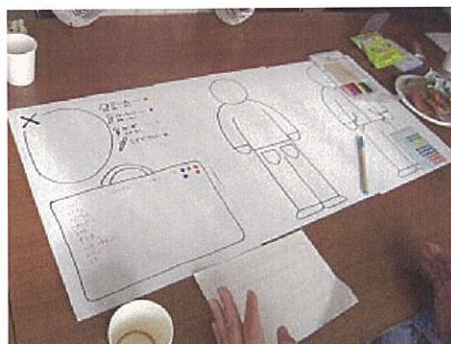
⑨ 特徴的な授業風景

【東新町にほんごカフェ／2010年11月13日 テーマ:持ち物】

<http://nihongocafe.sitemix.jp/blog/2010/11/13/1678>

<テーマ提示 10:15~10:20 (5分) >

その日に自分が持ってきたかばんから、手帳、ハンカチ、はぶらし、財布などを出して見せ、携帯電話は音に気付かないのでズボンのポケットに入れていて、トイレに2度落としたこと、カギは今日はズボンのポケットに入れているがかばんに入れる時もあり、いつも使う時に探すこと、腕時計はしないこと、などを話してワークシートの自分が身につけて



いる場所に見本でシールを貼る。外出時に持っている人が多いだろうと思われる①財布②携帯③カギ④腕時計をシールで貼ってもらうことにし、その他いつもかばんに入れているもの、持っていないものなどを文字や絵で書いて下さい、と指示した。

<交流活動 10:20~11:15 (55分)>

2人と3人のグループに分け、2人の方に進行役も加わる。後から1人来てくれ3人ずつになったので進行役はふたつのグループをあちこちしながら様子を見る。メンバーの組合せをどう変えるかも考えながら見ていたが、どちらも話が切れない感じだったので組替えは止めた。シールを貼る作業は初めてやってみたが、簡単なのでうまく伝わり楽しんでもらえた様子。書き込みは、日本人だけだったので文字で行っていたが、文字が読めない方がいたら絵にするなど、工夫すれば初級の方でも楽しめるだろう。実物を出して見せてくれている方もいた。▽大事なカード類は胸ポケットに入れている▽子どもが生まれてからは腕時計はしていない▽出かける時の交通手段によって持つかばんを変えている。▽電子辞書でできること▽頭痛薬はいつも持っている▽もちものへのこだわり▽パソコンを持ち歩くのは重い、など。グループ用のワークシートにしたことで、話しながら作業がしてもらえ、賑やかな感じの活動になった。



<活動の共有 11:15~11:30 (15分)>

途中、2つのグループが自然と一つになった時もあったが、基本分かれてやっていたのでそれぞれどんな話が出たか話してもらう。家にカギをかけないという話から、昔の話が出たり、カード類の話から、財布がパンパンになってしまう、という話になったり、共有の時にも自然と楽しい雰囲気になった。

<振り返り 11:30~11:55 (25分)>

実際に持っている物で話しやすかった、外国人の方も楽しめそうな話題だった、季節によっても持ち物が変わるのでまたやれるのでは、ワークシート良かった、等の感想があった。参加者それぞれがよく話していたし、楽しそうだったので、今日のテーマは高評価になったと思う。

【佐鳴台にほんごカフェ／2010年11月20日 テーマ:寒い日は…】

<http://nihongocafe.sitemix.jp/blog/2010/11/20/1634>

<テーマ提示 19:15~19:25 (10分)>

寒い日はどのような格好で外へ出かけるか、私が身につけるものを実物で紹介。マフラー、手袋、マスク、カイロなどなど。耳が大きい私には耳当ては必須だが、現在行方不明。

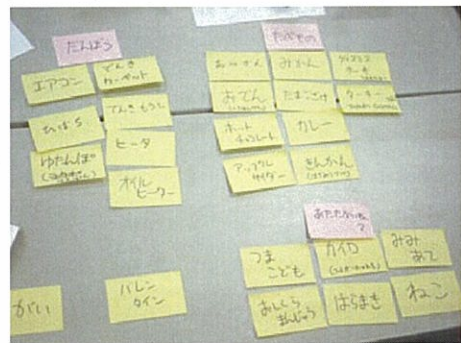
▽食べ物では、冬は野菜が安い鍋料理を作るという話。▽暖房はエアコンを使っているが、ノドが弱いので加湿器も使うという話（パンフレット）。やさしい日本語の単語チェックとして、加湿器の話が出たところで「湿度」を日本人参加者に考えてもらった。いろいろと言って身振りも交えて、「空気の中に水がどのくらいあるか」という感じでなんとか外国人参加者も分かったようだった。みなさんは寒い日はどうしますか、ということで会話活動に入った。

<交流活動 19:25～20:35 (70分)>

話題が出たら、その都度キーワードを付箋に書いてもらって、机の真ん中に貼ることにした。暖房機器のパンフレットを見ながら、暖房について話。ホットカーペットは電気代が安い。オイルヒーターはとても暖かいが、電気代が非常に高い。灯油のヒーター。こたつはあるけど、テーブルとしてしか使っていない。炭を使ったこたつ。昔は火鉢があった：絵で説明。▽腹巻き。外国人参加者の出身地であるテキサスを地図で確認。▽おでん。▽ネコを抱いていると暖かい。妻と子どもも暖かい。▽熱燗：熱いお酒は他の国にあるかホットチョコレートやアップルサイダーは温かくておいしい。▽ターキー。▽風邪予防、うがい、おしくらまんじゅう、たまご酒。カイロ、ゆたんぼ。

<振り返り 20:35～20:55 (20分)>

バラバラに貼った付箋を似た者同士でグループに分けて、そのグループに見出しをつけてみた。大きく分けると、「食べ物」「暖房」「身につけるもの」の3つになった。それを眺めて、今日の感想を聞いた。外国人参加者が少なかったが、Mさんが「たくさん話す練習ができたのでよかった」と言ってくれた。付箋の分類は、参加型学習の手法で習ったものを話題の分類法として利用した。あとの振り返りが非常に楽で、すぐに会話の内容を思い出せる効果があると分かった。どんなテーマでも利用できそう。たくさんしゃべったという印象が強く残るので良い。



【湖西にほんごカフェ／2010年5月24日 テーマ：私のいままで】

<http://nihongocafe.sitemix.jp/blog/2010/05/24/480>

<テーマ提示 19:15～19:25 (10分)>

西暦で年が書かれたカードがついたヒモを見せて、疑問詞カード「いつ」を提示し、洗濯バサミをヒモのある年の所につけて、私はこの年に生まれましたと説明した。次に、疑問詞カード「どこ」を提示し、ホワイトボードに貼った地図で生まれたまちを指差し、私はここで生まれましたと説明した。子どもの頃の写真や、バイト、日本語教室での写真を見せながら、いつ、どこでどんなことがあったか紹介した。

<交流活動（ペア） 18:25～18:55（30分）>

いつ（何年／何歳）なにをしたか・なにがあったかを書くワークシートを配布し、2～3人の小さなグループで会話をはじめてもらった。最初は「なにを話せばいいの？」という声があったが、例をあげたら参考になった様子。ブラジルでの家族、マナウスの写真。川が海のように広い。川の色の話。湖西市の昔の写真。ゼロ初級のペアでは、私は一が好きです。私は一から来ました。などの文型練習になっていて、かなり会話に苦戦していた。外国人同士のペアで、一方向の質問になっていたのも、まずは自分のことから話し始めるようアドバイスした。

<交流活動（グループ） 18:55～19:20（25分）>

3つのテーブル単位で話してもらった。テーブル全体で話すために最初のテーマ提示で使用したヒモをテーブルごとに配り、中心に置いて話をしてもらった。▽初級の方が多く、ほとんどグループにならずにペアになりがち。▽歳がばれると躊躇していたが、参加者の若い頃の写真で盛り上がり、後半は笑いに満ちた雰囲気。小中学校の学年のしくみが各国で違う話。▽洗濯バサミが最もたくさんついていた。老人クラブ、422小学校、フィアンセなど様々な話題が出た。



<活動の共有 19:20～19:50（20分）>

個人記録シートをはじめて使用した。内容は、1. 覚えたこと 2. わかったこと（発見） 3. 面白かったこと の3つ。なるべく日本語で書いてもらい、日本人のペアが文を確認をしてあげるよう指示。そのあとで、グループごとに記録シートに沿ったことを聞いた。紙に書いたことを読むのではなく、普通に対話してもらおうことを心がけた。

<振り返り 19:50～20:00（10分）>

ペアの時間でもグループになったり、グループの時間でもペアになったりしていた。あまり厳密にやらなくてもいいかも知れない。新規の日本人が多く、おしゃべりがうまくいないペアがいくつかあった。コーディネータの対応もこの人数だと難しい。日本人は新規の方とそうでない方の2人以上で外国人と小さいグループを作ったらいいのでは。第1回目からの初級者が続けて来てきているのが嬉しい。楽しんでいる様子。

⑩ 活用した日系人等（日本語を母語としない）の名簿

氏名	母語（国籍）	参加回数	当該教室での役割
王 進	中国語	-	チラシ翻訳
趙 春花	中国語	-	チラシ翻訳

桑田 マルシオ	ポルトガル語	-	チラシ翻訳
---------	--------	---	-------

⑪ 支援者の名簿(⑩以外)

【にほんごカフェ東新町教室】

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
川添裕子	浜松学院大学地域共創センター 客員センター員、 東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)、 日本語教育能力検定 試験合格	30回	教授者、 補助者
矢野美佳	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)	20回	教授者、 補助者
岡澤恭子	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)	17回	教授者、 補助者
永山鮎子	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)	9回	教授者、 補助者
西野恒男	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)	3回	教授者、 補助者
大場睦子	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了(副専攻相当)	14回	補助者
久澄絵美	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	日本語教育能力検定 試験合格、 日本語教師養成講座 420時間修了	3回	補助者
中谷有輝	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	-	15回	補助者
佐藤文也	東新町にほんごカフェ「アミザージ」	-	20回	補助者

※その他、地域に暮らす一般の日本人12人が外国人との会話活動に参加。

【にほんごカフェ佐鳴台教室】

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
近藤知子	浜松学院大学地域共創センター 客員センター員、 佐鳴台土曜にほんごカフェ「に ほんごcaféしゃべらナイト」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	8回	教授者、 補助者
山田国明	浜松学院大学地域共創センター 客員センター員、 佐鳴台土曜にほんごカフェ「に ほんごcaféしゃべらナイト」	聖徳学園岐阜教育大 学日本語学科卒業 （主専攻）、日本語教 育能力検定試験合格	15回	教授者、 補助者
上田ゆり	佐鳴台土曜にほんごカフェ「に ほんごcaféしゃべらナイト」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	13回	教授者、 補助者
澤田修一	佐鳴台土曜にほんごカフェ「に ほんごcaféしゃべらナイト」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）、 日本語教育能力検定 試験合格	5回	教授者、 補助者
末廣正志	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	14回	教授者、 補助者
小谷雅直	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	10回	教授者、 補助者
高橋俊行	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	12回	補助者
菊地奈々子	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	7回	補助者
石渡諭	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	-	14回	補助者
世田和子	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	-	12回	補助者
渡辺とし江	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日 本語交差点」	-	13回	補助者

神谷武志	佐鳴台日曜にほんごカフェ「日本語交差点」	-	11回	補助者
------	----------------------	---	-----	-----

※その他、地域に暮らす一般の日本人 22 人が外国人との会話活動に参加。

【にほんごカフェ遠州浜教室】

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
田野聖一	遠州浜にほんごカフェ「日本語ゆいの会」	日本語教育能力検定試験合格	29回	教授者、補助者
伊藤晴康	遠州浜にほんごカフェ「日本語ゆいの会」	浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了（副専攻相当）、日本語教育能力検定試験合格	28回	教授者、補助者
大野知子	遠州浜にほんごカフェ「日本語ゆいの会」	浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了（副専攻相当）	28回	教授者、補助者
マナーズ 秀子	遠州浜にほんごカフェ「日本語ゆいの会」	浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了（副専攻相当）	26回	教授者、補助者

※その他、地域に暮らす一般の日本人 13 人が外国人との会話活動に参加。

【にほんごカフェ湖西教室】

氏名	所属	専門分野及び日本語教育に関する資格	参加回数	当該教室での役割
杉浦徹衛	湖西国際交流協会 湖西にほんごカフェ運営委員会	-	28回	教授者、補助者
山田国明	浜松学院大学地域共創センター 客員センター員	聖徳学園岐阜教育大学日本語学科卒業（主専攻）、日本語教育能力検定試験合格	28回	教授者
近藤知子	浜松学院大学地域共創センター 客員センター員	浜松学院大学日本語教員養成プログラム修了（副専攻相当）	7回	教授者、補助者
小林園子	湖西国際交流協会 湖西にほんごカフェ運営委員会	-	30回	教授者、補助者
木脇佳子	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	21回	教授者、

				補助者
長谷川あや子	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	24回	教授者、 補助者
鈴木由美子	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	11回	補助者
佐藤博	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	21回	補助者
大谷幹雄	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	18回	補助者
溝田美穂子	湖西にほんごカフェ運営委員会	-	2回	補助者
山下富子	湖西にほんごカフェボランティア	浜松学院大学日本語 教員養成プログラム 修了（副専攻相当）	1回	補助者

※その他、地域に暮らす一般の日本人 50 人が外国人との会話活動に参加。

4 事業に対する評価について

①当初の学習目標の達成状況

本事業の外国人参加者の目標は、地域に暮らす日本人住民とおしゃべりを通して、日本語コミュニケーション能力を身につけることと、テーマに沿った対話活動のなかで、自分のことについて話し、他の参加者のことを知ることである。日本語コミュニケーションの場を提供し、おしゃべりを促進するためのしつけや手法を用いることで、どの教室でも活発な対話活動ができた。また、自分の身近なことを話すことができるテーマ設定によって、参加者同士がお互いのことを知ることができた。これらの成果は継続して参加する外国人の声からも裏付けられた。アンケートで、教室に来る一番の理由を答えてもらったところ、話すことと交流を求めて満足しているという回答が多かった。

※アンケートは、外国人 19 名、日本人 35 名が回答した。以下は、その抜粋である。

【アンケート質問「教室に来る一番の理由」の回答（外国人）】

- ・新しい言葉を覚えることができる。
- ・おもしろい、楽しい。
- ・楽しいし、友達もできるし、日本語を覚える。
- ・日本語を習いたいから。ボランティアの皆さんがおもしろいから。
- ・日本語で話すのが苦手なのでカフェでもっと練習したい。
- ・勉強のため、カフェでの時間を共有するため。
- ・日本の生活の中で、いろいろなことを知りたいから。日本文化の勉強のため。
- ・日本語を話して勉強するため。
- ・（どんな場面でも）上手くやっていけるよう、またもっと流暢に話せるようになるため。
- ・気軽にいろいろなことが聞けるから。
- ・日本のことが知りたい、友達を作りたい。

- ・日本語が上手になりたい、友達を作りたい。
- ・いろいろな人と会えるので。
- ・日本語をしゃべりたい。みんなが間違っても教えてくれる。以前はしゃべるところがなく、日本語の勉強も途中でやめてしまったが、カフェでしゃべるようになって、また自分で勉強したくなり、始めた。

②学習者の習得状況

本事業では日本語能力の向上を客観的に測ることは目的としていない。毎回の活動のなかで日本語でたくさん話せたという充実感を持ってもらうことを第一に考え、その積み重ねによって結果として日本語が上達したことを生活の中で実感してもらうことを期待した。アンケートによる学習者本人の振り返りでは緩やかではあるが上達を感じている人は多い。

【アンケート質問「日本語が上手になったか」の回答（外国人）】

- ・少し。(計4件)
- ・上手になったと思う。(計3件)
- ・たくさん学んだ。
- ・カフェで聞いた言葉を思い出すことがある。
- ・自信ができました。
- ・少しずつ、より理解できるようになっている。
- ・だんだん上手になっていると感じる。
- ・まだです。
- ・まだ分からない。

③日本語教室設置運営の効果、成果

本事業の教室は、教師の指導によって文法学習を積み上げていく学習型ではなく、コーディネータが用意するテーマ提示や、対話活動を支えるしかけによって参加者が中心になって対話活動をするという、全国的に見ても実践例が少ない先駆的な試みであった。

参加者数は教室によって違うが、どこの教室も学習者は常連の人たちと、たまに参加する人たちの層に分かれている。積み上げ式の学習型教室と違って、いつでも参加できる本事業の活動は、久しぶりでも安心して参加できる。忙しい外国人学習者の生活にも合った教室が提供できていると言える。

外国人集住都である浜松市、磐田市では、日本語学習の機会は地理的な問題を除き数は増えてきた。しかし、地域社会で外国人が日本人と話す機会はそれほど多くはない。本事業の教室は一般の日本人も外国人と対等な関係で参加するという、多文化共生社会の実現に向けた画期的な取り組みであった。特に、日本人参加者への「やさしい日本語」の啓発には効果をもたらしたと言える。アンケート結果から、やさしい日本語の使用は思った以上に難しいものの、多くの日本人参加者が心がけるようになった。

【アンケート質問「やさしい日本語が使えるようになったか」の回答（日本人）】

- ・まだまだですが…、使えるようになったと思います。
- ・要努力。
- ・なかなか難しいもの。まだまだです。
- ・以前よりは気をつけてやさしい日本語が使えるようになったと思う。
- ・他人の日本語は気になるようになったが、自分のほうはわからない。
- ・やさしい日本語を使いたいと常に思っているが難しい。
- ・ゆっくりわかりやすく話すことを心がけています。
- ・カフェ以外の時間でも気をつけて話すようになった。
- ・同じ意味のことをわかりやすい表現で話すよう気をつけるようになった。
- ・嬉しいとついたらたくさん話してしまい、気が回らなくなってしまうので気をつけたい。
- ・使えるようにはなりましたが、やはり時間が少ないようです。
- ・言葉がやさしくなった。
- ・少しは楽に使えるようになった気がする。常に意識はしている。

④地域の関係者との連携による効果、成果 等

4つの地域で開催した本事業は、各教室の活動内容を共有し、お互いが参考にするためにメーリングリストを利用して、教授者が各回の活動報告書を作成して投稿した。メーリングリストは教授者・補助者を中心に関係者32名が登録している。

活動内容はブログ (<http://nihongocafe.sitemix.jp/>) でも発信した。ブログは県内外の日本語教育や外国人支援の関係者にも読まれ、見学者の受け入れや、地域住民の新規参加にも繋がった。

地域に暮らす日本人がスタッフや会話参加者として参加し、4教室の日本人動員数は125名にのぼった。公共施設などで誰でも気軽に多文化共生を実感できる場をつくり、多くの人の繋がりを生み、協力を得ることができたことは本事業の最も大きな成果と言える。以下に、各教室の様子をまとめる。

- ・湖西教室は、新聞でも取り上げられ、4教室の中で最も多い60名の日本人が参加した。
- ・佐鳴台教室は、土・日を週交替りで交互に開催していたが、事業外の回も独自運営で教室を開催し、花火やパーティー、デパート散策等の教室外の企画も実施した。
- ・遠州浜教室は、スタッフやボランティアが学習者と同じ地元住民ということもあり、日常生活でも学習者と声を掛け合う機会が増えた。主婦層の常連ボランティアが活発なおしゃべり活動に貢献した。
- ・東新町教室は、施設利用の面で公民館と多文化交流センターの協力を得て、無料で教室を借りることができた。地域住民が常連のボランティアとなって学習者の呼びかけも積極的に手伝った。

⑤改善点、今後の課題について

a 現状

教室には地域に暮らす一般の日本人が対話活動に参加している。しかし、日本人参加者が話す日本語は外国人参加者にとって難しい場合が少なくない。外国人の言語習得の助けとなる理解可能なインプットの手本として、コーディネータは相手の日本語レベルに合わせて話すことを心がけているが、それを日本語教師・ボランティアではない一般の日本人参加者に気付いてもらうことは容易ではない。これは外国人参加者の満足度に強く影響することで、教室が抱える課題である。また、教室は誰でもいつでも参加できるので、初めて参加する日本人参加者に教室のコンセプトや、「やさしい日本語」の説明を十分にできないことも多い。

b 今後の課題

一般の日本人参加者に、外国人が理解しやすい「やさしい日本語」の使用を、もう少し意識してもらいたい。そのためには事前説明や振り返りなどの対策が考えられるが、誰でもいつからでも気軽に参加できることがこの教室の良さでもあるので、負担にならないよう配慮する必要がある。

c 今後の活動予定、展望

事業終了後も年度内は、日本人と外国人の住民同士のおしゃべりを基本としつつ、それぞれの教室が参加者のニーズに応じて様々な特色を出して活動を継続している。運営はボランティアによる各教室の独自運営に切り替わり、今後も委託事業として継続を検討している教室もある。

浜松学院大学は、平成19～21年度に実施した「日本語教員養成プログラム」において地域日本語教育で活躍する人材を育成し、その修了生が多く関わった本事業で教室運営をサポートし地域貢献を果たすことができた。今後も、日本語教育に携わる人材の育成において、教室見学やボランティア参加、情報交換などで本事業で得た繋がりを活かしていく。

PROJETO REALIZADO PELO UNIVERSIDADE DE HAMAMATSU GAKUIN
COM O APOIO DO MINISTÉRIO DA CULTURA DO JAPÃO

NIHONGO CAFÉ TOSHIN-CHO IWATA

TAXA
GRÁTIS



VAMOS JUNTOS NOS DIVERTIR E CONVERSAR!

NÃO É PRECISO SABER FALAR JAPONÊS FLUENTE.

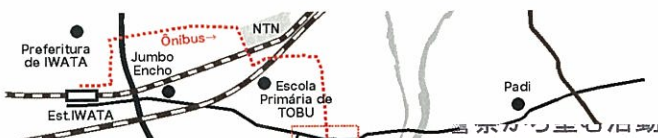
O ATALHO PARA SE FALAR UM BOM JAPONÊS, É CONVERSAR BASTANTE.

1	2	3	4
Apresentação do tema e dicas para o conversação.	Conversação com grupos pequenos.	Anotar o que foi dito no conversação.	Escutar a conversa dos outros grupos.
			

HORÁRIO : **SÁBADOS 10:00~12:00**

LOCAL : **MINAMI MIKURI KOMINKAN** (IWATA-SHI HIGASHI-ARAYA 613)

SET			OUT			NOV			DEC			JAN									
4	11	x	25	x	9	16	23	x	6	13	20	27	4	11	18	x	x	8	15	22	29



ES
nizade_iwata@yahoo.co.jp

*Não é necessário fazer reservas.

INFORMAÇÃO
"AMIZADE" a

2010 - Japanese Language Education Program for Foreign Residents in Japan
Sponsored by the Hamamatsu Gakuin University—Agency for Cultural Affairs

NIHONGO CAFÉ SANARUDAI

EVENING

FEE:
For FREE



Wouldn't it be nice to communicate with your neighbors in simple Japanese?

In order to create a pleasant community where Japanese and foreign residents live together in harmony, it is important they understand each other. The “Nihongo Café” is a place dedicated to improving communication by helping with Japanese language while at the same time sharing cultural ideas. The atmosphere is casual, like in a small café, and everyone speaks on an equal basis while discussing a specific topic. It is a great chance to learn more about your neighbors while improving your Japanese.

1 The coordinator gives the class a theme, and then discuss their own personal experiences and thoughts on the topic as an example to the participants.

2 The participants think about how they can discuss the topic; using Japanese at a level they are comfortable with.

3 The class divides into groups of 4 to 5 people and has a discussion in simple Japanese.

4 The participants share their ideas, experiences, and different cultures with each other in a friendly environment.



SATURDAY 19:00-21:00 @ SANARUDAI COMMUNITY CENTER ★

NOVEMBER

DECEMBER

JANUARY

6

13

20

27

4

11

18

×

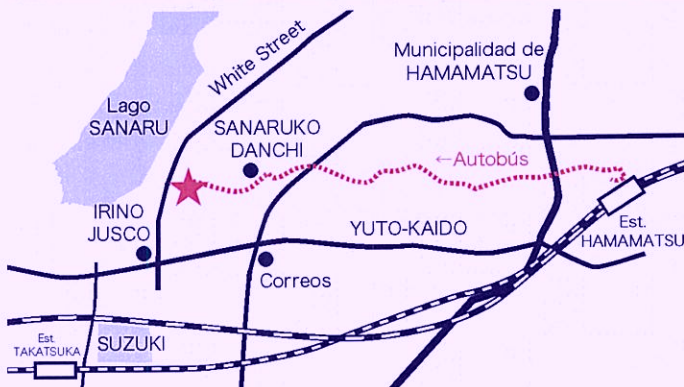
×

8

25

22

×



ACCESS BY BUS

Take any bus from platform #3 at the Hamamatsu Bus Terminal and disembark at “Kyouiku Sentā” (1 min. ¥200). At the traffic light, cross the street to go to the Sanarudai Community Center.

INFORMATIONS ※ No reservations are needed

For more information
on the Sanarudai Nihongo Café, contact:
sanaru.n.cafe@gmail.com

For inquiries
on the Nihongo Café, contact:
nihongocafe@hgu.ac.jp

<http://nihongocafe.sitemix.jp/cafe/sanarudai-n/en>

PROJETO REALIZADO PELA UNIVERSIDADE DE HAMAMATSU GAKUIN
COM O APOIO DO MINISTÉRIO DA CULTURA DO JAPÃO

NIHONGO CAFÉ ENSHUHAMA



**ESTAMOS A PROCURA DE PESSOAS
QUE GOSTEM DE CONVERSAR COM ESTRANGEIROS!**



O “ENSHUHAMA NIHONGO CAFÉ” é um lugar onde japoneses e estrangeiros podem se comunicar. É um lugar onde será falado num japonês fácil e será ouvida a história de cada um.

Não gostaria de se juntar a nós aos sábados de manhã, conversando em japonês enquanto toma um café? Contamos com sua presença.



SÁBADOS

GRAMÁTICA					9:00-10:00				CONVERSAÇÃO LIVRE				10:00-12:00		
OUT					NOV				DEC				JAN		
2	x	16	23	30	6	13	20	27	4	x	18	x	x	8	...

LOCAL : GOTO KOMINKAN (MINAMI-KU FUKUSHIMA-CHO 242-1)



●ACESSO : Pegue o ônibus do nº1 na plataforma 7 do terminal da Est.Hamamatsu. Desça no ponto “FUKUSHIMA” (¥300/17min).

■Informações gerais do projeto “NIHONGO CAFÉ”
Patrocínio: Universidade de HAMAMATSU GAKUIN 053-450-7003

■Informações sobre “NIHONGO CAFÉ ENSHUHAMA”
Coordenador : TANO Seichi (Japonês) 090-9260-7815

WEB SITE <http://nihongocafe.sitemix.jp/cafe/enshuhama/p>

PROJETO REALIZADO PELO UNIVERSIDADE DE HAMAMATSU GAKUIN
COM O APOIO DO MINISTÉRIO DA CULTURA DO JAPÃO

NIHONGO CAFÉ KOSAI



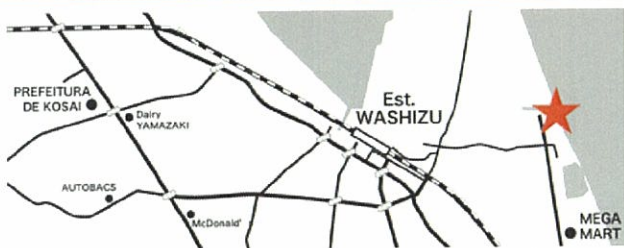
TAXA
¥0

O “NIHONGO CAFÉ” é um local onde japoneses e estrangeiros residentes na região se encontram para através de uma conversa alegre aprender mutuamente as formas de se expressar usando um japonês prático na vida cotidiana.

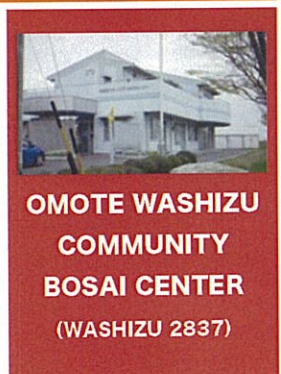
Os temas são os mais variados... com um japonês fácil de entender e simples, vamos tentar falar em japonês!! E você pode trazer seu filho/filha também. Também damos apoio ao aprendizado das crianças.

1	2	3	4
Primeiramente ouvimos a conversa de uma pessoa.	Depois será dividido em grupos e conversaremos em um japonês fácil.	Vamos escrever em japonês as palavras que aprendemos, o que foi falado.	Será discutido com todos o que houve de mais interessante na conversa.

Todas as segundas das 18:00 às 20:00



São 15 minutos a pé da estação.
*Você segue para o norte na rua em frente do Megamart. Fica no lado direito do rua sem saída.
*Fica nos fundos da praça.



NOVEMBRO					DEZEMBRO					JANEIRO				
1	8	15	22	29	6	13	20	x	-	x	x	17	24	31

■ Informações gerais do projeto “NIHONGO CAFÉ”
Patrocínio: Universidade de HAMAMATSU GAKUIN 053-450-7003

■ Informações sobre este curso “NIHONGO CAFÉ KOSAI”
Cooperação: Associação Intercultural de KOSAI 053-575-2008

WEB SITE <http://nihongocafe.sitemix.jp/café/kosai>